

創造・参加・実践
No.598

最新のJR西労組運動をチェックしよう!

JR西労組ホームページ

http://www.jrw-union.gr.jp

QRコードでダイレクトニュースを登録して下さい

労働協約改訂交渉や春闘等のJR西労組運動の情報を文字ニュースとして配信します。

※wjru.comをドメイン指定して下さい。



西日本旅客鉄道労働組合

〒530-0012 大阪市北区芝田2丁目1番18号

西 阪 急 ビ ル 9 階

TEL06-6375-9869代 JR071-7155代

(FAX)06-6373-4133 JR071-7151

発行責任者 荻山 市朗

編集責任者 宮野 勇馬

JR西労組組合員の皆さんへ

のぞみ34号重大インシデントの発生を踏まえて 全組合員で問題意識を共有し、 あらためて安全確立に全力をあげよう

12月11日(月)、博多発東京行き「のぞみ34号」(N700系、JR西日本所有車両)の台車に亀裂等が確認されるという重大インシデントが発生しました。新幹線の安全の根幹に関わるきわめて危険な事象であり、私たちは、ご利用者、国民の新幹線に対する信頼を失墜させかねないものであることを深刻に受け止めなければなりません。

JR西労組は、とりわけ福知山線列車事故以降、あのような事故が起きるリスクを予測できなかったこと、ミスやエラーが起り得ることを前提とする安全最優先の対策を講じられていなかったことの反省のうえに、労使で「安全性向上計画」、「安全基本計画」、そして「安全考動計画2017」を策定し、その完遂にむけて取り組み、さらに、新たな安全計画の策定への議論を進めてきました。しかし、そのような最中に今回の重大インシデントが発生してしまったことは痛恨の極みです。

原因や経緯等の詳細は調査中ですが、なぜリスクを想定できなかったのか、安全最優先での対応ができなかったのかといった課題を責任組合の立場から真摯に反省するとともに、早急に検査や指令の体制やルールなどについて、その背景を含めて聖域を設けることなく分析、検証することとします。そして、個人の力量や判断に頼るだけではなく、異常時に躊躇なく安全を最優先して対処できるよう、ハードや仕組みによって安全性の向上を図るとともに、リスクアセスメントを深度化し、私たちが気づいていないリスクの想定と対策の強化を図っていかねばなりません。また、新幹線のさらなる安全性向上にむけて、あらためて労使協力を徹底し、ソフト面、ハード面ともに改善を求めていくこととします。そのために、第一線で運行に携わる組合員の皆さんの建設的な提起を要請いたします。

事象発生の後、直ちに新幹線の全台車の緊急点検を実施し、現在も緊張感を持って安全運行に従事していただいている関係組合員の皆さんのご努力に感謝します。今こそ、グループ会社・協力会社の仲間と力を結集し、全組合員が一丸となってこの難局を乗り越え、すべての職場において安全最優先を着実に積み重ね、社会に信頼いただける新幹線、鉄道の安全を築いていきましょう。

2017年12月20日

西日本旅客鉄道労働組合(JR西労組)
中央執行委員長 荻山 市朗

のぞみ34号重大インシデント

関係する各分会で 緊急職場集会を開催

12月11日(月)、博多発東京行き「のぞみ34号」(N700系、JR西日本所有車両)の台車に亀裂等が確認されるという重大インシデントが発生した。とりわけ福知山線列車事故以降、安全最優先の取り組みを着実に積み重ねてきたが、今回の事象は、新幹線の安全の根幹に関わるきわめて危険な事象であり、組織全体の課題として深刻に受け止めなければならない。

〔関連職場で働く組合員の切実な声を集約〕

事象の発生を受け、中央本部は地本等が主催する緊急職場集会に出席した。12月18日(月)、福岡地本



また、新幹線管理本部分会・大阪新幹線車掌区分会(25日)、東京指令所分會(26日)において開催された緊急職場集会にも出席し、安全最優先で業務にあたる組合員からの切実な声を集約している。

〔早期の原因究明と再発防止を会社と協議〕
JR西労組中央本部は直



ちに申第13号「のぞみ34号」の台車枠亀裂発生に対する緊急申し入れ」を会社に提出し、21日に会社と緊急の経営協議会小委員会を開催した。

〔在来線の検査体系見直しも慎重な対応を求める〕

一方で、在来線については、2017年10月に「新検査体系導入に伴う体制の見直し」により、新世代電車の検査内容を見直す提案がなされ、本部一本社間で一定の議論を行っている。大筋了解としてい

新年を迎え 思い新たに 2018年安全を誓い前進を期する集い

新年を迎え 思い新たに 2018年安全を誓い前進を期する集い

JR西労組中央本部は、1月10日(水)、ホテルグ

ンヴィア大阪において「2018年安全を誓い前進を期する集い」を開催した。各地

本・総支部、国会議員、友誼団の躍進を誓い合った。



冒頭、荻山委員長は挨拶の中で、昨年12月11日に発生した新幹線重大インシデントに、今年一年間のJR西労組の躍進を誓い合った。委員長は挨拶の中で、昨年12月11日に発生した新幹線重大インシデントに、今年一年間のJR西労組の躍進を誓い合った。委員長は挨拶の中で、昨年12月11日に発生した新幹線重大インシデントに、今年一年間のJR西労組の躍進を誓い合った。

〔全組合員の皆さんへメッセージを発信〕
さらに、12月20日に開催した第6回中央執行委員会において、現状と今後の進め方について確認し、JR西労組組合員の皆さんへ向

者合同で労使協力を進めることが重要であると考え、国労西日本本部、建交労西日本鉄道本部へ呼びかけ、12月26日付けで3組合共同でJR西労に「臨時労使安全会議」の開催への賛

新幹線重大インシデント発生を踏まえた臨時労使安全会議への参加について

12月11日、のぞみ34号のJR西日本所有のN700系車両の台車枠に亀裂が生じて運行を打ち切るといって新幹線では初めて重大インシデントに指定される事象が発生した。労働組合の立場からも、きわめて危険な事象に対する危機感と問題意識を持ち、職場の視点を踏まえた実効ある再発防止策を講じ、新幹線のいっそうの安全性向上に取り組む必要があると考える。

福知山線列車事故の当事者であるJR西日本が起こした今回の重大インシデントは、社会的に非常に厳しく受け止められている。国民、利用者、安全運行に携わっていただいているJR西日本に働く社員は一体であり、この事象に対し、労働組合の枠を超えて協力して安全確保に取り組むことが求められていると考える。

JR西労組、国労西日本本部、建交労西日本鉄道本部の3組合は、以上の問題意識に基づき、JR西日本内の労働組合が一同に介して、今回の重大インシデントについて労使協力を進める「臨時労使安全会議」の開催を早期に求めることを確認した。貴労組を含めて各組合はすでに対応を進めているが、働く者が合同で労使協力を進めることが重要であると認識している。

貴労組におかれても「臨時労使安全会議」の開催に賛同するとともに、会議に出席して再発防止と安全確立に向けて協議に参加いただくよう申し入れる。

以上

催、JR西労は不参加
既にJR西労組をはじめ各労組は、個別に会社側へ申し入れを行い、対応を進めているが、安全の取り組みは労働組合の枠を超えて協力することが肝要である。日々明らかになる事柄について労使が議論を交わす

えて、そのような中であっても、2018年春季生活闘争においては、組合員の労苦に心え、成果の公正配分としてベアの継続実施を強く求めることなどについて、決意を述べた。

その後、来賓として連合大阪の多賀雅彦副会長、近畿交運労協の松延博道議長、JR西労組職員団会議長の中田利幸米子市議会議長から連帯の挨拶を受けた。

乾杯はJR連合の松岡会長が務め、安全確立・重大労災ゼロを図ること、民主化闘争に引き続き力を入れることなどについて誓い合った。

参加した組合員は、委員長や来賓の挨拶を受けてお互いに議論を深め、今年一年間の取り組みについて思いを新たにしました。